山鳩が鳴いている

上依知小学校五年　宇都宮　三岳

デッテデーホッホ
デッテデーホッホ

山鳩が鳴いている
どこで鳴いている

ブロックの壁の上か
トタン屋根の上か

窓を開けた
急に鳴き止んでしまった

どこで鳴いていたのだろう

デッテデーホッホ
デッテデーホッホ

山鳩が鳴いている

どこかで鳴いている

小さな社の屋根か

台風の時に折れた梅の木の上か

そっと窓を開けてみた

鳴いているのに姿は見えない

どこで鳴いているのだろう

デッテーホッホ

デッテデーホッホ

山鳩が鳴いている

どうして鳴いている

鳴き声は一羽だけ

さびしいのかな

仲間を呼んでいるのかな

20 × 20

デッテデーホッホ

デッテデーホッホ

山鳩が鳴いている

あっちで鳴いている

急いで庭に出た

まっすぐに伸びた参道を見た

ここは兄と歩いた通学路

今は別々の時間に通る

また一緒に歩きたいな

山鳩はいつの間にか鳴き止んでいた

デレッデレッデレッデポーホッホ

デレッデレッデレッデポーホッホ

「あれ。」

もう一羽の山鳩が鳴いている

20 × 20

仲間が来たのかな

どこかで出会えたのなら

きっとさびしくないだろう

夕方になってきた

山鳩は見つからなかった

兄があの道を通って帰ってくる

ぼくは窓を開けた

20 × 20